

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 一般財団法人杏仁会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																										
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17										
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念については施設内、パンフレット、ホームページ等において公表している。 ・定期的な会議等で目標について共有している。							8	9												17							
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・医療保険法・介護保険法・労働基準法をはじめ、関係法令遵守について定期的に会議・勉強会を開催し確認している。																				16							
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・法人として法令を遵守し公正な取引に努め、全職員に向けてその重要性についてオンライン研修や勉強会を開催し説明している									10											16							
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・各病院・施設を代表する管理者で構成された経営企画会議を毎月開催し、社会・環境に及ぼす影響に対応できるよう整備している。																				16							
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・2023年度にDX委員会を設置し、著作権の侵害を行わないよう取り組んでいる。							8.2 8.3	9												16							
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報保護に関する誓約書において、業務上知り得た情報等を保護する旨の誓約を入職時に徴取している。 ・個人情報保護の規定を明文化し、各病院・施設の事務部長が責任者となって管理を徹底している。																				16							
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・患者様・ご利用者向けのご意見箱を設置し、事業運営に活かす取り組みを実施している。 ・取引業者との平等な関係を築いている。																				16	17						
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性及生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5					8		10									12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		・地震、水害の経験を踏まえたBCPを策定し、火災訓練・防災訓練を実施している。 ・地域自治会との連携を図り、発災時の避難所として取り決めを行っている。											9			11								13.1				16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●												8	9																17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2																				
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・各種ハラスメント禁止について規定を作成している。 ・スタッフの相談窓口担当者を周知している。 ・ハラスメントに関する研修会を実施している。					4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3														16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・衛生管理者を選任し届け出している。 ・衛生委員会を毎月開催し、時現状把握・安全な職場環境の構築を行っている。 ・産業医と連携し労働安全衛生管理に取り組んでいる。											8.8																
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金等の原則に則り、正職員・非正規職員(パート職員)の公正な待遇を行っている。																											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・女性スタッフは産前・産後休業と育児休業取得率を100%取得している。 ・ワークライフバランス会議を定期的に開催し、改善に向けた提案を行っている。 ・ノー残業デイを設けている。																											
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修を用いて職員の教育を行っている。 ・各種院内専門士育成制度があり、1年を通じて学習し、認定されたスタッフは学んだ知識を活かし日々の業務を行っている。																											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・生活習慣病予防検診を積極的に受診するよう働きかけを行っている。 ・心身の不調を感じた場合のフローを作成し、必要に応じて医療機関の受診を勧めている。																											17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・国籍、性別、年齢、障害の有無にこだわらない採用を実施している。																											
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・ウェブ会議を取り入れている。 ・入院患者様、入所ご利用者のウェブ面会を取り入れている。																											
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・従来の紙媒体による手書き記録業務からの脱却を図り、病院・施設で電子カルテを導入している。 ・介護記録システムと連動したタブレット端末を導入し、訪問先での介護・看護記録入力を実施している。 ・必要箇所wifi環境を構築している。 ・法人内の書類のデジタル化を推進し、業務効率化や紙使用量の削減に取り組んでいる。																											
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		プライト企業に認定されている。																											

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 一般財団法人杏仁会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具象的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・医療廃棄物の処理については専門業者に委託している。 ・残飯を専門業者に買い取ってもらい、食品残さの飼料化に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・太陽光発電を利用している。 ・空調電力制御システムを設置し、無駄な電力を使用しないよう取り組んでいる。 ・電力会社からの毎月の使用量報告を経営企画会議の場で発表している。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シートを用いてCO2排出量を算出している。 ・太陽光発電を利用している。 ・空調機器をはじめとした節電に取り組んでいる。 ・電気自動車を使用している。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・キャッシュレス決済を導入し、紙幣や硬貨の使用を減らすことにより、資源の効率的な利用と廃棄物の削減に取り組んでいる。 ・職員に対してレジ袋の使用削減、エコバッグの使用推進を促進している。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・法人内の書類は裏紙の使用を徹底している。 ・会議の資料や記録などをペーパーレス化している。 ・給与明細、年末調整、源泉徴収票等をペーパーレス化している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・井水を汲み上げ、上水に処理し法人内の生活用水を全て賅っている。 ・節水への取り組みを定期的に発信している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・再生紙やリサイクルトナーを使用している。 ・ペーパータオルやトイレトーパーは、再生紙利用のものを使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・残飯のチェック、記録を行っている。		1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・敷地内の様々なところに木々や植物があり、緑の保全に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・空調電力制御システムを設置している。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17		

